

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立産業文化センター	所管課	文化・スポーツ振興課
指定管理者名	毎日興業株式会社	施設分類	市民文化系施設（集会施設）
指定期間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	利用料金制導入	一部利用料金制（利用料金及び指定管理料）
導入年月日	平成21年4月1日	指定回数	5回
施設設置目的	市内の産業の振興と市民の文化の向上を図るため設置する		
施設概要	【開設】平成5年11月1日 【延べ床面積】1119.9㎡ 【構造】鉄筋コンクリート 【主な施設】多目的ホール、ギャラリー、会議室3部屋		
管理運営の基本方針	産業の振興と市民の文化の向上を図るため、市民の平等な利用が確保され、地域連携及び街づくりに貢献する施設を目指す。利用者に安心、安全を提供するとともに、ホスピタリティにあふれた快適な施設の提供を目指す。		
指定管理者の主な業務	ホール・ギャラリー・会議室等の貸し出し、施設及び設備の維持管理、施設並びに附属設備の利用に関する業務。産業の振興と市民文化の向上を図るための自主事業の開催。		

評価項目

- 【評価基準】 5：指定管理者のノウハウや努力等により、要求水準を大きく上回っている場合
4：要求水準を上回っている場合
3：要求水準を満たしている場合
2：要求水準を下回っている場合
1：要求水準を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	埼玉県で一番お客様満足度の高い産業文化施設にすることを目指し、ひとが集まる施設環境をつくるため、施設の運営管理や自主事業等を実施し、産業の振興と市民の文化の向上に務めた。	4
区分	具体的な取組の状況・実績	
館内外の美化	外看板をリニューアル。また、館内掲示物の掲示方法を工夫し、館内の美化に努めた。 全室の拭き掃除は徹底し、受付と清掃と連携して、汚れの予測できるところは念入りにチェックした。 館外の雑草はこまめに除去し、季節ごとに樹木を生かせるよう伐採剪定を実施した。	
安全対策	自転車で来館する利用者に適切に駐輪をするよう案内を行った。また、交通の妨げになるような駐輪がないよう見回りを実施した。 駐車場の柵を伐採、剪定することでチャドクガの発生を抑え、安心して駐車場を利用できるようにした。	
自主事業	夜間帯などの空き時間を利用し28種36講座の自主事業を開催した。空手や外国語などレベルに応じて複数クラスを展開している講座は入会後の認識のずれを解消するため、体験受講を推奨して会員の定着を図った。 年2回のDISCOもシニアを中心に多くの参加があり定着した。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	自己資本比率46.7%で良好。キャッシュフローも問題なし。令和7年3月期も前期同様に売上高、利益ともに順調に推移。特に問題はなし。総じて、前期と同様に、内容は良好。	3
その他特記事項	指定管理者としての組織体制は安定しており、市民の平等利用は確保された。	

3 施設の有効活用

		利用区分等	予定（計画・目標） 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価	
施設利用状況		多目的ホール	21,000 人	20,869 人	110.4%	99.4%	3	
		多目的ギャラリー	14,000 人	13,287 人	104.9%	94.9%		
		第一会議室	4,300 人	4,125 人	102.9%	95.9%		
		第二会議室	7,700 人	7,472 人	98.8%	97.0%		
		第三会議室	13,000 人	12,012 人	175.7%	92.4%		
		(特記事項) 施設全体の利用人数は57,765人と前年度と比べ7,814人増加したが、施設全体の稼働率は52.3%と前年度と同様となった。 第三会議室については、令和7年度に一般及び公用利用が増え、約6,000人増となり、対前年比が175.7%と増加した。						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由				
	市指定事業	施設の利用受付及び許可等に関する業務。 利用者への施設の貸出、利用相談、利用支援に関する業務。 施設の管理運営及び付帯設備の維持管理業務 文化の振興及び産業の振興に関する事業。 ・地元落語 しゃべって！さいたま〜ふじみ野を1月に開催 ・5月と11月にDISCOを開催した。 ・ふじみ野産文フェス2025を8月に開催した。 ・毎月第木曜日にマンスリーコンサート&マルシェを開催		追加事業	なし			
				未実施事業	「版画を彫って年賀状を刷ろう」企画に応募がなく中止。			
	自主事業	・自主事業文科系教室の実施 579回 ・自主事業健康系教室の実施 618回 ・フクトピアと共同で夏休み教室（工作教室・貯金箱を作ろう）を開催した。		なし				
利用サービス向上の取組		・年度内で10回以上の有料利用があったホール・ギャラリーの利用者に、翌年度4月以降の同室利用を1回無料にする取り組みを実施継続した。 ・キャッシュレス決済端末を導入し、利用者ニーズに柔軟に対応した。						

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の 要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
	(2) 調査、会議等の内容		
	実施時期：令和7年4月1日から令和8年3月31日まで 調査方法：アンケート用紙の配布、誰でも自由に投函できるアンケートボックス設置		
	(3) 調査、会議等の結果		
	調査結果：非常に良い・良いの評価の割合		
	①スタッフの対応100% ②館内外美観100% ③施設の備品97% ④販売商品82% ⑤近隣施設と比較90%		
利用者からの 評価・要望・ 苦情等	(1) 良好とする評価		4
	スタッフの画一的な対応ではなく、個々に応じたきめ細かく臨機応変な対応に感謝するという評価を得た。		
	(2) 苦情・改善等の要望事項		
	利用時間前に到着した利用者から利用時間前の入室許可を求める要望に対し、受付担当の対応にばらつきがあった。		
	《対応措置》		
	スタッフへの指導を徹底するとともに、公共施設として、本来の利用時間の公平性を確保する観点を丁寧に説明し理解を得た。		

5 事業収支

(単位：円)

①指定管理 業務事業収支	指定管理者収支（令和7年度）				市の収支				評価	
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算		令和6年度決算（前年度）	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額
	収入	利用料金	14,294,000	利用料金	14,004,400	歳入	施設使用料	0	施設使用料	0
事業収入		905,000	事業収入	400,082	行政財産使用料		34,043	行政財産使用料	34,350	
指定管理料		8,837,000	指定管理料	8,837,000	国庫支出金		0	国庫支出金	0	
雑入		10,000	雑入	8,423	県支出金		0	県支出金	0	
自主事業からの充当		2,500,000	自主事業からの充当	2,500,000	その他		86,715	その他	86,715	
計		26,546,000	計	25,749,905	計		120,758	計	121,065	
支出	人件費	15,785,000	人件費	13,136,175	歳出	修繕料	419,805	修繕料	0	
	消耗品費	500,000	消耗品費	450,874		保険料	12,989	保険料	12,424	
	光熱費	3,488,000	光熱費	4,112,604		指定管理料	8,837,000	指定管理料	8,071,200	
	水道料金	143,000	水道料金	153,817		業務委託料	0	業務委託料	0	
	委託料	2,427,000	委託料	1,874,400		土地・建物賃借料	0	土地・建物賃借料	0	
	賃借料	766,000	賃借料	763,455		その他	0	その他	0	
	通信費	220,000	通信費	259,840		備品購入費	0	備品購入費	120,120	
	保険料	35,000	保険料	31,184						
	修繕費	600,000	修繕費	213,398						
	事業費（市指定事業）	729,000	事業費（市指定事業）	409,618						
	公租公課	7,000	公租公課	4,770						
	一般管理費（本社経費等）	1,503,000	一般管理費（本社経費等）	1,503,000						
	その他	343,000	その他	141,451						
			キャッシュレス対応	27,504						
計	26,546,000	計	23,082,090	計	9,269,794	計	8,203,744			
収支	0		2,667,815		差引	△ 9,149,036		△ 8,082,679		
②市への納付金 ※納付金がある施設のみ	市への納付金	支出	0	支出	0					
③最終収支（①－②）	収支	0		2,667,815						
●自主事業収支	自主事業収支	収入	12,158,300	収入	12,656,482					
		支出	9,215,450	支出	9,758,602					
		自主事業収支	2,942,850	自主事業収支	2,897,880					
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】							56.9%		
	事業収支における経営分析			利用料金収入は計画値に対し97.9%となり、おおむね計画値のとおりであったが、エネルギー価格高騰の影響により光熱水費の実績が計画値より増加したが、人件費等の圧縮により収支改善が図られている。						
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由			-						

6 管理運営全般

※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容		適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか		適	4
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか			
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか		適	
	配置実績	館長1名、副館長1名、受付5名、清掃2名		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			
特記事項	築30年以上が経過し、施設や備品に経年劣化が見られる中、正面玄関のタイル修繕を実施し利用者の安全を確保した。また、軽微な修繕については適宜行うことで、利用者が快適に利用できる環境を提供した。			

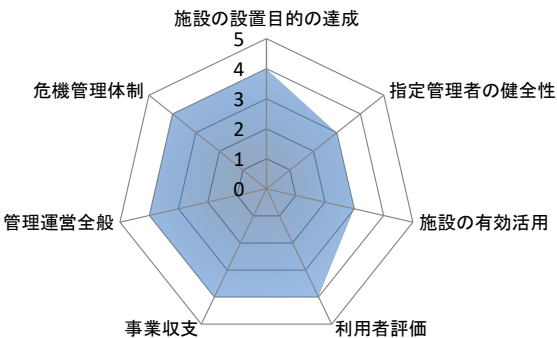
7 危機管理体制

※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	4
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項	降雪があった際には、開館前に正面玄関の雪かきを実施するなど、施設の特性を把握し安全管理に努めた。		

総合評価

【総合評価】 A：とても優れている／B：優れている／C：適正である／D：努力が必要である／E：改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		市民文化系施設（集会施設）
総合評価	施設の設置目的の達成	4	B		
	指定管理者の健全性	3			
	施設の有効活用	3			
	利用者評価	4			
	事業収支	4			
	管理運営全般	4			
	危機管理体制	4			
評価理由	自主事業において、ふじみ野駅へのチラシ配架や市からのメール配信など、幅広い方法で周知を行い来場者の増加・定着が図られたほか、利用者のニーズに応じた事業展開や施設管理を行うなど、利用者の拡充及び満足度の向上に努めた。				
取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項		実施状況		次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	他の管理物件へのアピールや、立地上の好条件という利点を活かし、更なる認知度向上に努める。		表の看板のリニューアルを実施したほか、窓看板、館内ポスター、館外用チラシを配布し施設の周知活動を実施した。		利用者数は増加したものの、稼働率の増加には繋がらなかったことから、施設の利用促進に向けた広報活動に努める。

指定管理者自己評価	
(1) 評価期間の取組に対する評価 ①サービス向上に向けての取組 設置目的に基づき、公平、公正にサービスを提供し、市民から信頼される施設づくりに取り組んだ。 市民のニーズを把握・理解し暮らしの満足度を高めるため、質の高いサービスの提供や適切な課題の解析を行い、以下の取り組みを実施した。 ア 前日申込みや当日の緊急利用に対して、自主の教室移動や時間差利用で、利用者の要望をできるだけ考慮して対応した。 イ ホール・ギャラリーで年度内に10回以上の同一者有料利用があった場合、翌年度以降の利用を1回無料にするサービスを継続して実施した。 ②業務の効率化に対する取組 ホール・ギャラリーで使用する備品類は多岐にわたるので、収納場所の整理・整頓・清掃に努め、効率良く使用できるよう努めた。 担いで移動する備品には、できるだけ台やキャスターを装着し安全で効率的に移動できるよう工夫した。 ③その他 近隣のリニューアル施設と比較すると、施設、備品の新しさ(使い勝手の良さ)、利用可能時間のきめ細かさ、料金の安さ、駐車場の有無等の課題はあるが駅近、規模感、経験豊富な舞台資格者による演出など当館ならではの優位性を活かす方法を考えながら運営に努めた。 (2) 管理業務実施上の課題 利用収入拡大の為、ホール、ギャラリー稼働率の向上が課題である。 駅と商業施設、大きな集合住宅の近くにある立地利点を活かし、さらなる地域との連携、広報活動が課題である。 (3) 次年度以降の取組 稼働率向上を目指し、ターゲットを明確にし施設の特性を活かした企画を立案するとともに十分な広報活動を行い施設認知度を上げることで施設の活性化を図る。	